

## 「ARMA International 東京支部 総会併設 第112回定例会のご案内」

### ◇講演

1. 題名：『レコード・アーカイブズ一貫システム構築の視点』

2. 講師：東京大学文書館 准教授 森本 祥子 氏

専門分野：アーカイブズ学

主な業績：

- ・「アーカイブズ編成・記述の原則再考：シリーズ・システムの理解から」  
(国文学研究資料館編『アーカイブズの構造認識と編成記述』思文閣出版、2014年)
- ・「大学組織のアーカイブズ：理論と実践の提示への期待」『日本の大学アーカイブズ』  
京都大学学術出版会2005年
- ・「アーカイブズにおける記述標準化の動向」『図書館目録とメタデータ：情報の組織化における新たな可能性』勉誠出版2004年 ほか

3. 講演の主な内容

英語圏で定評のある記録管理学、アーカイブズ学の基本図書“**Managing Records : A Handbook of Principles and Practice**” (2003) が、このたびの講師である森本祥子氏ほかの編訳で『レコードマネジメントハンドブック — 記録管理・アーカイブズ管理のための』として日外アソシエーツから出版されました。

森本氏は、“イギリスにおける「レコード」という言葉の指すものは、「レコード」と「アーカイブズ」を時間で分断した上で前者だけを指す、という視点ではなく、全体をまとめてレコードと捉えています。だからこそ、本質的につながっているということが、自然に受け止められています。

日本のアーカイブズに携わる人たちには、「レコードのことを無視してアーカイブズの整理に没頭しても無理ですよ」と言いたいし、レコード・マネジメントに携わる人たちには、「将来もレコードとしての価値は持ち続けるのだから、長い目でみて管理が継続できる体制を作らないとだめですよ」と言いたいのです。その上で、今回の翻訳本は、そうした立場を前提として具体的な文書管理の方法も語られていますので、そのご紹介もしたいと思います。”と語っておられます。

本講演をどうぞご期待ください。

◇日 時：2016年7月15日(金) 15:00-16:30(開場：14:40)

\*講演1時間、質疑応答30分

◇会 場：中央大学駿河台記念館 330号室 (3階)

東京都千代田区神田駿河台 3-11-5 03-3292-3111

交通アクセス：JR御茶ノ水駅、営団地下鉄 新お茶の水駅下車 ニコライ堂先

<http://www.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/>

◇主 催：ARMA International 東京支部

◇後 援 (予定)：記録管理学会、日本アーカイブズ学会、企業史料協議会

◇参加費： 会員2,000円、非会員3,000円

◇締切り： 7月10日(金)

◇申込み： セミナーは会員以外の方も参加できます。定 員： 60名(先着順)

参加ご希望の方は、メール([office@arma-tokyo.org](mailto:office@arma-tokyo.org))にて、氏名、所属、連絡先(電話番号、メールアドレス)をご記入の上、ARMA 東京支部までお申込み下さい。